



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月13日

上場会社名 株式会社 クワザワ

上場取引所 札

コード番号 8104 URL <http://www.kuwazawa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桑澤 嘉英

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 三田 久郎

TEL 011-864-1112

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	72,571	12.3	1,360	46.1	1,438	40.4	777	△32.0
25年3月期第3四半期	64,598	1.2	931	9.3	1,024	12.6	1,142	△8.4

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 978百万円 (△18.1%) 25年3月期第3四半期 1,195百万円 (△4.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	94.38	—
25年3月期第3四半期	138.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	42,116	10,495	23.4
25年3月期	34,787	9,607	26.0

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 9,871百万円 25年3月期 9,057百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	7.00	7.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期 期末配当金の内訳 普通配当5円 記念配当2円

平成26年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当5円 記念配当2円

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	91,000	5.3	1,150	33.7	1,250	28.7	650	△32.4	78.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	8,347,248 株	25年3月期	8,347,248 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	178,273 株	25年3月期	103,221 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	8,234,904 株	25年3月期3Q	8,247,594 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策などを背景とした円安・株高の進行により企業収益が拡大傾向となり、個人消費にも持ち直しの動きが見られるなど緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループの位置する建設関連業界におきましては、政府の住宅取得促進施策の効果や消費税引き上げ前の駆け込み需要、住宅価格の先高観などから、新設住宅着工戸数が前年同期を上回るなど堅調に推移いたしました。

このような環境において、当社グループでは、復興需要に積極的に対応したほか、需要拡大の見込まれる太陽光発電や断熱材などの創エネ・省エネ関連商品の取組みを強化いたしました。さらに、顧客獲得と販売シェアの拡大に努め、需要の掘り起こしに向けた営業力の強化と施工体制の拡充により利益確保を図りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が725億71百万円（前年同期比112.3%）、営業利益は13億60百万円（同146.1%）、経常利益は14億38百万円（同140.4%）となりました。しかしながら四半期純利益は、前年同期において連結子会社の株式を追加取得したことに伴い負ののれん発生益を特別利益に計上したことや、今期において税金費用が増加したことなどから7億77百万円（同68.0%）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

建設資材

民間の建築需要が堅調に推移したことから、売上高は465億36百万円（同112.2%）となり、セグメント利益は10億46百万円（同122.9%）となりました。

建設工事

前年度からの繰越工事や大型物件の完工などから売上高は180億66百万円（同114.9%）となり、セグメント利益は4億86百万円（同152.0%）となりました。

石油製品

販売数量は減少したものの販売単価が上昇したことから、売上高は48億33百万円（同103.6%）となり、セグメント利益は30百万円（同224.1%）となりました。

資材運送

建設資材の需要の増加に伴い、売上高は28億63百万円（同116.1%）となり、セグメント利益は3億4百万円（同132.8%）となりました。

その他

売上高は2億70百万円（同110.4%）、セグメント利益は1億8百万円（同111.4%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比73億28百万円増加して421億16百万円(前連結会計年度末比121.1%)となりました。流動資産は同72億円増加して344億11百万円、固定資産は同1億27百万円増加して77億4百万円となりました。流動資産の増加の主なものは、受取手形及び売掛金の増加によるものであります。固定資産のうち有形固定資産は、同77百万円減少して51億20百万円となりました。無形固定資産は、同16百万円減少して1億45百万円となりました。投資その他の資産は、同2億22百万円増加して24億39百万円となりました。

(負債の状況)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末比64億40百万円増加して316億20百万円(前連結会計年度末比125.6%)となりました。流動負債は、同71億18百万円増加して288億27百万円、固定負債は同6億77百万円減少して27億93百万円となりました。流動負債の増加の主なものは、支払手形及び買掛金の増加によるものであります。固定負債の減少の主なものは、長期借入金の減少によるものであります。

(純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末比8億87百万円増加して104億95百万円(前連結会計年度末比109.2%)となりました。この増加の主なものは、利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の26.0%から23.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年11月12日に公表の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項（法定実効税率を使用する方法）に準じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,522	3,700
受取手形及び売掛金	18,952	24,207
商品及び製品	499	597
販売用不動産	1,284	1,506
未成工事支出金	1,619	3,825
原材料及び貯蔵品	20	28
その他	377	604
貸倒引当金	△65	△58
流動資産合計	27,210	34,411
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,543	3,503
その他(純額)	1,654	1,616
有形固定資産合計	5,197	5,120
無形固定資産		
	162	145
投資その他の資産		
その他	2,499	2,695
貸倒引当金	△282	△256
投資その他の資産合計	2,216	2,439
固定資産合計	7,577	7,704
資産合計	34,787	42,116

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,636	24,237
短期借入金	861	10
1年内返済予定の長期借入金	1,102	891
未払法人税等	247	470
賞与引当金	220	84
工事損失引当金	4	4
完成工事補償引当金	29	27
その他	1,605	3,100
流動負債合計	21,708	28,827
固定負債		
長期借入金	2,018	1,380
退職給付引当金	218	118
負ののれん	4	2
資産除去債務	18	3
その他	1,212	1,289
固定負債合計	3,471	2,793
負債合計	25,179	31,620
純資産の部		
株主資本		
資本金	417	417
資本剰余金	318	318
利益剰余金	8,248	8,967
自己株式	△22	△54
株主資本合計	8,962	9,649
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95	222
その他の包括利益累計額合計	95	222
少数株主持分	550	624
純資産合計	9,607	10,495
負債純資産合計	34,787	42,116

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	64,598	72,571
売上原価	59,248	66,504
売上総利益	5,350	6,067
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	2,269	2,326
その他	2,149	2,380
販売費及び一般管理費合計	4,419	4,707
営業利益	931	1,360
営業外収益		
受取利息	24	26
受取配当金	14	16
負ののれん償却額	2	2
持分法による投資利益	7	12
雑収入	136	107
営業外収益合計	186	165
営業外費用		
支払利息	62	60
債権売却損	19	18
雑損失	10	8
営業外費用合計	92	87
経常利益	1,024	1,438
特別利益		
固定資産売却益	7	16
負ののれん発生益	442	—
特別利益合計	449	16
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	1	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益	1,472	1,454
法人税等	271	602
少数株主損益調整前四半期純利益	1,200	851
少数株主利益	57	74
四半期純利益	1,142	777

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,200	851
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	127
その他の包括利益合計	△4	127
四半期包括利益	1,195	978
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,138	904
少数株主に係る四半期包括利益	57	74

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	建設資材	建設工事	石油製品	資材運送	計				
売上高									
外部顧客への売上高	41,492	15,730	4,663	2,465	64,352	245	64,598	—	64,598
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,104	377	92	357	1,932	41	1,973	△1,973	—
計	42,597	16,107	4,756	2,823	66,285	286	66,571	△1,973	64,598
セグメント利益	851	320	13	229	1,414	97	1,511	△580	931

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、損害保険代理店事業および車両整備事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△580百万円には、セグメント間取引消去36百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△616百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「建設工事」セグメントにおいて、株式会社クワザワ工業の株式を追加取得したことに伴い、負ののれん発生益を計上しております。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては「建設工事」4億42百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	建設資材	建設工事	石油製品	資材運送	計				
売上高									
外部顧客への売上高	46,536	18,066	4,833	2,863	72,300	270	72,571	—	72,571
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,205	335	102	379	2,023	38	2,061	△2,061	—
計	47,742	18,401	4,936	3,243	74,323	308	74,632	△2,061	72,571
セグメント利益	1,046	486	30	304	1,867	108	1,975	△615	1,360

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、損害保険代理店事業および車両整備事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△615百万円には、セグメント間取引消去47百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△663百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。